

栃木よみうり

THE TOCHIGI YOMIURI

4月9日 (土曜日)

2005年 (平成17年)

発行所 株式会社 栃木よみうり
 〒320-0822 宇都宮市河原町1-4
 読売宇都宮ビル3階 ☎028(638)5200
 FAX028(636)1788
 発行日 水・土曜日(週2回)
 広告読売栃木広告社 ☎028(635)1261

第962号 (4)

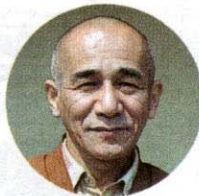
益子の陶芸家
 柴田宋休さん

2冊目の詩画集



詩画集「であえてよかった」

「生きるヒントに…」



柴田宋休さん

【益子】町内在住の陶芸家、柴田宋休(そうきゆう)さん(56)はこのほど、詩画集「であえてよかった」を出版した。4月15日まで、陶芸広場つかもと(益子三三三〇)の1つの個展会場で販売している。

柴田さんは、自分で考えた文章(詩)に、身近な生活の中にある草花などの水彩画を添えた「詩画」を手掛けている。平成12年、詩画集「あるがままに」を出版し、今回は2冊目。

「であえてよかった」

には、旧作から最新作まで80点を掲載。例えば、「純化」という作品は、

庭先に咲いていたムラサキツクサの水彩画に、詩「あれもこれもと、欲ばっていたとき、迷いが多かったが、大切なことを、中心に生きはじめたら、楽になった」と添えられている。

柴田さんは「人生の道に迷っている人や、行き詰まっている人たちの生きるヒントになれば」と話している。

A5判横サイズ、82頁。1050円。書店での販売はしないので、個別

園児たちの夢祈願

足利 最勝寺で絵馬コンクール

【足利】大岩山毘沙門天(最勝寺)主催の「第11回夢祈願絵馬コンクール」の審査がこのほどあり、最高賞(特選)の大岩山毘沙門天賞に、伊藤永理ちゃん(めぐみ幼稚園)の作品「じてんしゃのりたいな」が選ばれた。

同寺の開山1250年に当たる平成6年から毎年、市内の園児(小学生1年)を対象に実施して

いるコンクール。同寺には、宝暦2年(1762)以降の絵馬が138点と、数多く保管されていることから始めた。

作品は「ほくの夢わたしの夢」をテーマに縦20センチ、横22センチの厚紙に描くもので、今回は502点の応募があった。全作品が4月24日まで、同寺に展示されている。

結果は次のとおり。

▽特選―伊藤永理、新輔、亀岡仁

開輝、新藤有紗、山田優希、本島颯太、小林園子、山崎幹矢、山口航平、采澤良智、西田青波、原理久、大崎真依

▽金賞―岩川陸人、吉澤伊織、新井龍之介、藤沼杏樹、為貝歩美、福田真緒、高橋一成、栗原咲希、坂原希望、小林愛、陳浩太、加藤唯、橋本輝彬、桑山知也、石井杏奈、岡崎美帆、清水唯人、采澤和哉、館野秀輔、亀岡仁



▽銀賞―河内優佳、権田紗希、内田聖乃、中山亜美、増田萌、川田真莉愛、富山詠美、橋本まいみ、山崎凌平、吉田彩乃、佐藤明輝、市岡沙織、横山真梨亜、五十木啓太、小塚由羽希、全泰汰、大木俊平、二ノ宮大汰、栗原七海、中島遥、本領恵、米山美月、大沼重保、松島有花、五十嵐太一、柏瀬もえ、出島泰斗、梁川絵梨佳、飯嶋結海、田島みのり

展会場(☎0285・72・5656)か直接、柴田さんに申し込む。☎0285・72・5829、柴田宋休インターネットギャラリーhttp://soukyu.eksplan.jp/